



公益財団法人 日本ハンドボール協会 編
令和2年11月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻605号

ハンドボール

10・11
OCT/NOV.2020
No.605



- 第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会
- 寄稿:スポーツにおけるビッグデータ・AIの活用
- 寄稿:ブレスド名古屋Jr.ハンドボールクラブ



挑戦を続けた日々が、大舞台へと届くように。
諦めない気持ちと、熱い感動を、世界中へ届けるために。

ヤマト運輸はジャパンハンドボールオフィシャルパートナーです。



ヤマトホールディングスは、
東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーとして、
東京2020オリンピック競技大会を応援しています。

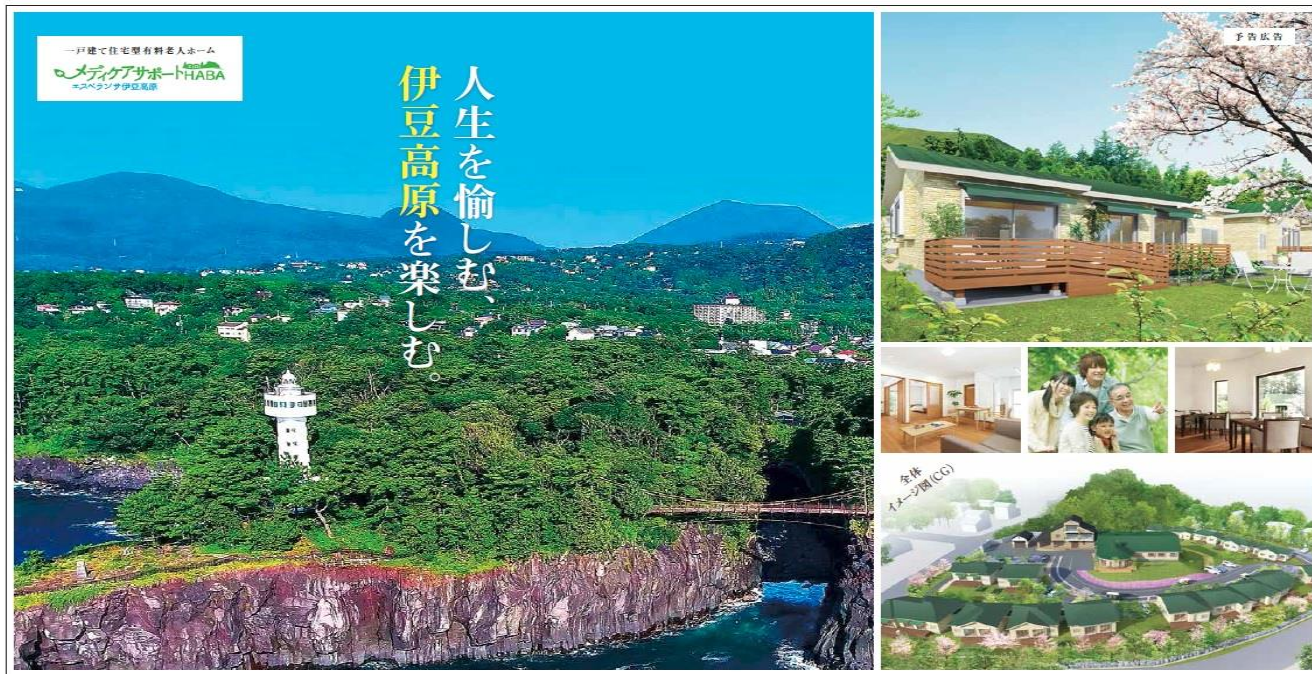


東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー
ヤマト運輸はヤマトホールディングスのグループ会社です



プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム



メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始!

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開! 待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1丁目37-5

TEL : 03-3525-8986 / FAX : 03-5295-8188 <http://yurika-co.jp/>





あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

スポーツは 教えてくれた。

スポーツは教えてくれた。耐えることを。
スポーツは教えてくれた。力を合わせることを。
スポーツは教えてくれた。不可能を可能にすることを。
スポーツは教えてくれた。油断しないことを。
スポーツは教えてくれた。戦いから逃げないことを。
スポーツは教えてくれた。いちばんの敵は自分だということ。
スポーツは教えてくれた。人を思いやることを。
今こそ、スポーツから教わったことを実践する時。
ひとりひとりのスポーツマンシップが輝けば、
それは、暗いトンネルの出口を照らす光になる。
あなたの力で、
この未曾有の危機はきっと乗り越えられる。
そして来年、
世界中の友とともに、
美しく燃え盛る
ひとつの炎を
見つめよう。

**amino
VITAL**[®]

Eat Well, Live Well.

Aj
AJINOMOTO



【表紙の写真】
第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会


CONTENTS

- 07 チームとレフェリー団が両輪となり
ハンドボールのさらなる発展を目指して
——(公財)日本ハンドボール協会常務理事(審判本部長) 福島亮一
- 08 第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会
- 09 大会を振り返り——沖本 哲郎
- 10 男子優勝——Cherry blossomキャプテン 島田 恭輔
- 11 女子優勝——SWAG 望月 ちひろ
- 12 戦評
- 14 寄稿：スポーツにおけるビッグデータ・AIの活用
——日本大学スポーツ科学部教授/東京大学空間情報科学研究センター 特任教授 清水千弘
- 16 寄稿：ブレスド名古屋 Jr. ハンドボールクラブ
——ブレスド名古屋Jr.ハンドボールクラブ代表 稲本 等
- 18 IHF 便り
——機関誌編集委員 小林弘樹
- 20 2020年度採用事務局職員紹介
丸山紀子/佐藤なつ美/菅原京平/藤谷怜奈
- 22 2020年度 臨時理事会・全国理事長会議・常務理事会

がんばれハンドボール 20万人会「サポート会員」8・9月入会・継続会員

【宮城】大河原浩気【埼玉】園部英昭、岡部克則【千葉】小椋 薫、小椋良子【東京】土田 健、塩川安賢、三善信明、西岡雅樹、川上整司、小山葉子【神奈川】稲葉鋭夫【岐阜】大野真紀子【愛知】浅野亜由実、浅野貴嗣、田中基明、笹野邦雄、竹内里奈、羽生豊一、松下孝子、岡田洋典【三重】加藤 祥【大阪】宮崎 寛、白鳥貴子【兵庫】高祖加奈子、柿木國夫【広島】青戸克好【香川】稲毛浩司【佐賀】久保田秀光

次号は12・1月合併号(No.606)を予定しております(1月1日発行予定)。




レオピン
60年
おかげさまで誕生60年

熟成ニンニク抽出液・
ビタミン配合*

湧永製薬株式会社

第3類医薬品
キョーレオピンw
・滋養強壮・虚弱体質



キョーレオピン
KYOLEOPIN
LIVID

液剤タイプ(カプセル付き)
*ビタミンとしてビタミンB1・ピオチン配合


いつも笑顔で、元気な毎日：
皆様の「元気」を、
キョーレオピンが応援します

熟成ニンニク
抽出液

研究を重ねて60年

- 体力が落ちてしまった
- 風邪をひきやすい
- 忙しくて休めない
- 朝起きるのがつらい

第3類医薬品
キョーレオピンキャプレットS
・滋養強壮
・虚弱体質



キョーレオピン
キャレット

小粒な錠剤タイプ(当社製品比較)
*ビタミンとしてビタミンB1・B12配合

お客様相談窓口 **0570-666-170**

チームとレフェリー団が両輪となり ハンドボールのさらなる発展を目指して



公益財団法人 日本ハンドボール協会 常務理事 (審判本部長)

福島 亮一

平素より、審判本部へのご理解およびご協力に、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止に努める日々の中、去る8月29日、今年度初めての全日本大会として第45回日本ハンドボールリーグが開幕いたしました。

開幕を迎えるにあたり、また継続して各地で熱戦が繰り広げられている中、支えてくださっている全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

開幕にあたり、日本ハンドボールリーグ機構審判委員会（以下、審判委員会）では「チームとレフェリー、テクニカルオフィシャルの連携強化」を目標に掲げ、今シーズンより新たな取り組みを行っております。その内容について、僭越ながら紹介させていただければと思います。

1. レフェリー、テクニカルオフィシャルの研修の実施

コロナ禍の中、Zoomを用いたオンライン研修を各2回実施。更にもその内容を録画し、使用した資料と共に、チーム、レフェリーおよびテクニカルオフィシャル（マッチオフィシャルおよびテクニカルデレゲート）というそれぞれの立場の垣根を越えた三者間での共有を可能とすることで、判定基準等の統一を図ると共に、必要なときにいつでも確認できるようにしています。

2. 研修映像のアップロード（随時）

ハンドボールの魅力を最大限に引き出すことを目的に、随時、今シーズンのゲームの中からクリップを作成、解説と共にアップロードし、レフェリー、テクニカルオフィシャル、チーム（プレーヤー）が確認できることを可能としました。これにより、チーム、レフェリー（テクニカルオフィシャルを含む）の双方の立場から、クリーンなハンドボール、スピーディーなゲーム展開、観ている者を惹きつけるプレーを目指します。

3. 三週ごとの総括とレフェリングの目標を設定

テクニカルオフィシャルも含め「レフェリー団」として、レフェリングやスムーズなゲーム運営の向上を目指し、三週ごとにレフェリングの成果と課題を整理しつつ、次へのステップアップを目指し新たな目標を設定しています。こちらの情報もチームと共有することで、ハンドボールの更なる発展へと繋げてまいります。

これらの取り組みは、チームとレフェリーによる判定基準等に関する共通理解を目的としていますが、もう一つ、大切な役割を担っています。

それは、「危険な行為からプレーヤーを守る」ことです。

チーム、レフェリー、テクニカルオフィシャルというそれぞれの立場から、起こったことを振り返るばかりでなく、重大な事案が起こらないことを確認し、安心・安全な試合運営をこれからも心掛けてまいります。

最後になりますが、世界基準のハンドボールを目指し、チーム、レフェリー団が両輪となり、取り組みを更に進めていくためにも、引き続き、皆さまのご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会

第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会

開催時期：2020年9月12日
 開催地：愛知県・碧南市
 会場：愛知県碧南市碧南緑地ビーチコート

最終順位

【男子】	優勝：Cherry Blossom	【女子】	優勝：SWAG
	準優勝：BBJ		準優勝：Thetis 東京
	3位：BHC TOCHIGI		3位：HC fine
	4位：SHC 浜松		



大会を振り返り

沖本 哲郎

昨年に引き続き、愛知県碧南市にある碧南緑地ビーチコートにて、9月12日、男子4チームのトーナメント戦、女子3チーム総当たりのリーグ戦で大会を開催しました。当初は2日間の開催予定でしたが、コロナ感染を懸念して、参加チームが予想よりも少なかったため、コロナ感染対策として、宿泊が発生しないように1日での開催となりました。

秋雨前線の影響で直前の1週間愛知県では毎日豪雨が続けておりました。大会当日もコート設営時に雨が降っており天候を心配しておりましたが、コート設営が完了する頃には雨が上がり、その後は1日中晴天に恵まれました。

また、怪我人、病人もなく円滑に日程を消化することができたのは今大会に関わっていただいたスタッフ皆様のおかげで、大変感謝しております。

男子の部は、愛知のCherry Blossom、静岡のSHC浜松、栃木のBHC TOCHIGI、神奈川のBBJといろいろな地区からの参戦となりました。今大会にむけて結成したチームが多い中、碧南緑地ビーチコートを拠点に、年間を通して練習を積んできた愛知のCherry Blossomが1セットも落とさずにストレートで初優勝を飾りました。ここぞというところでのミスが少なく、練習の差が勝敗を分けた結果となりました。

女子の部は、SWAG、Thetis東京、HC fineと3チームとも東京から参戦し、ビーチハンドボール経験者を多く擁するSWAGが全勝で初優勝となりました。

昨年は、実力が拮抗し、シュートアウトでの決着になる試合が多かったのですが、今年は全てストレートで勝敗が決まり、経験値の差が成績に影響したようです。

コロナ対策として、今大会は無観客での大会となりましたが、初めて試合の様子をライブ配信することに挑戦しました。一部ネットワークのトラブルが発生してしまいましたが、多くの方にライブ映像が届けられました。まだビーチハンドボールの試合を見たことないという方は、日本ハンドボール協会のホームページのムービーギャラリーにてアーカイブが閲覧できるようになっておりますのでご覧ください。(http://handball.or.jp/moviegallery/)

コロナ禍での大会開催となり、感染の不安から参加チームが少なくなってしまったのは残念なことでしたが、コロナ対策ガイドラインの策定、健康管理チェックの実施、検温、アルコール消毒、密にならない導線など、感染対策を十分に行うことでwithコロナの大会運営の一例として、参考になっていければと思います。

最後になりましたが、碧南市様、碧南市スポーツ課様には、大変すばらしい施設を貸していただき大変感謝しております。当日も碧南市スポーツ課の皆様にお越しいただき、ビーチハンドボールの魅力を肌で感じていただけました。今後もビーチハンドボールにご協力いただけるよう協力体制を整えていきたいと思っております。株式会社モルテン様には、試合球をご準備いただきありがとうございました。株式会社エスエスケイ様には、優勝チームへのTシャツ、スタッフTシャツをご提供いただきありがとうございました。日本旅行株式会社様には、コロナ対策にご協力いただきありがとうございました。STUDIO FNC様には大会演出、映像配信を担当していただきありがとうございました。

当日会場にお越しになれなかった方も含め、多くのハンドボール関係者にご協力いただきありがとうございました。各種SNSでは予想以上の反響となったことで、今後のファン獲得に期待ができると思えた大会となりました。

男子優勝

Cherry blossom



Cherry blossom キャプテン 島田 恭輔

はじめに、今大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の方、ご支援いただいたスポンサー様に感謝いたします。また、今年はコロナ禍で、大会の開催自体が危ぶまれる中、徹底したコロナ対策により、無事大会を開催して頂けたことにも重ねて感謝致します。誠にありがとうございました。

私たち Cherry blossom は 2020 年 2 月にオーストラリアで開催された全豪ビーチハンドボール選手権に挑戦したメンバーに、普段、碧南ビーチコートで練習を重ねているメンバーを加え、今年結成されたチームです。今大会の優勝チームには国際大会への派遣権利が与えられるため、国際大会への出場意欲の高いメンバーが集まりました。急造チームではありましたが、その意欲の高さから短期間のチーム練習でも充実した練習を積むことができ、その成果として優勝することができ大変うれしく思います。

今大会を振り返って、一回戦の相手である SHC 浜松は、普段、交流の深いチームで、お互い手の内を知っているチーム同士の対戦となり、戦いづらい部分もありましたが、DF、OF 共に機能し、序盤にリード出来たことが勝因だったと思います。決勝戦の相手の BBJ は日本代表経験のある選手も多く強敵でした。1 セット目は、開始早々の相手選手退場を利用した得点から先制点の奪取に成功し、そこから波に乗ることができました。機動力を活かした組織的な DF が機能したことに加え、OF では練習してきたノーポストでの OF パターンからの得点が多く決まり、終始リードした展開でセットを奪取することが出来ました。2 セット目、序盤は相手の GK のファインセーブや高い個人技による OF に苦しめられる場面も有りましたが、DF、GK の踏ん張りやミスマッチを利用した得点により終盤まで接戦となりました。終盤 OF のポジションチェンジから流れにのり、勝利を掴むことが出来ました。

今大会はライブ配信や MC の導入など新たな試みがあり、多くの人に試合を見て頂ける環境でプレーできたことを非常にうれしく思います。今後さらに日本のビーチハンドボールの発展に貢献できるよう活動していきたいと思ひます。



女子優勝

SWAG



SWAG 望月 ちひろ

今大会開催にあたり、ご尽力くださいましたすべての関係者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、SWAGとして、初の公式戦を迎えられたことをとても嬉しく思います。

私たちのチームは、「日本代表を1人でも多く輩出する」「海外で闘える選手、チームになる」「ビーチハンドボールの普及に貢献する」というコンセプトを掲げ、2020年4月にスタートしました。

チーム創設当初から、私たちの活動を応援してくださっている、株式会社 i-plugin 様。全日本大会に向けて、チームTシャツをご提供いただいたフィールズスタジアム合同会社様、ご支援いただいている株式会社 nature 様、多くの方々の支えのもと、SWAGがあります。

「応援していただいている皆様に、結果で恩返しをする」

このような気持ちを持ちながらも、コロナの影響で満足いく活動が出来ず、モヤモヤする日々が続きました。

今年度のほとんどの大会が中止となり、全日本大会が開催されるのかとても不安でしたが、個人としても、チームとしても、全日本大会開催に備え、準備を続けました。

限られたチーム数での開催にはなりましたが、全日本大会優勝という結果を残せたことは、とても良かったと思います。

皆様からのたくさんの温かいメッセージ、ご声援が本当に励みとなりました。SWAGに関わってくださる全ての皆様に感謝しております。ありがとうございます。

全日本優勝を受け、SWAGは来年度開催予定であるアジアビーチゲームズへの派遣権利を得ることができました。今後は、アジアビーチゲームズに向けて、選手全員より一層気を引き締めて、活動してまいります。昨年度の悔しさを晴らします。

より強いチームに、よりレベルアップした選手になれるよう精進してまいりますので、今後とも応援のほどよろしく願いいたします！！

■3位決定戦 BHC TOCHIGI 2 (19-16、22-6) 0 SHC 浜松

第1セット、BHC TOCHIGI 小田の連続得点で試合が始まる。SHC 浜松は、林のスピッシュートで反撃する。BHC TOCHIGI 小林のスピッシュートや小田のスカイシュートで得点を重ねるが、SHC 浜松も負けじと、鳥居を中心に攻めるが一步およばず、BHC TOCHIGI が第1セットを取った。

第2セット序盤からBHC TOCHIGI の怒涛の攻撃で10-0とSHC 浜松を引き離す。一方、SHC 浜松は小川のスピッシュートで反撃するも、序盤の得点差を跳ね返すことができず、第2セットもBHC TOCHIGI が取り、勝利を収めた。

■決勝戦 Cherry Blossom 2 (15-12、20-16) 0 BBJ

第1セット、ジャンプボールの際にBBJ 小川の退場からゲームがスタートする。Cherry Blossom は、島田、大橋の得点でリードを広げる。対するBBJも橋野らの得点により、点の取り合いに。終盤まで互いに譲らなかったが、Cherry Blossom 高橋らの得点により、少しずつリードを広げ、Cherry Blossom が第1セットを取った。

第2セット、BBJ 大場のスピッシュートからゲームスタート。すかさずCherry Blossom 小林の得点で取り返す。その後も高橋のスピッシュートなどでCherry Blossom がリードを広げるが、BBJもすぐに追い付き、シーソーゲームに。しかし、高橋を中心に着実に得点を積み重ねたCherry Blossom が第2セットも取り、優勝となった。

■総当たりリーグ戦 Thetis 東京 2 (7-6、10-9) 0 HC fine

第1セットHC fine が4-0でリードしていたが、Thetis 東京 GK 矢原の好セーブと上江洲の連続2点シュートで逆転し、7-6で第1セットを先取した。

第2セット残り1秒でHC fine 平山の2点シュートで同点とし、ゴールデンゴール方式での決着になったが、その後、Thetis 東京村田の決勝ゴールにより第2セットも制した。結果はセットカウント2-0でThetis 東京の勝利となったが、両セットともに接戦となり、大変白熱した試合となった。

■総当たりリーグ戦 SWAG 2 (15-2、19-5) 0 HC fine

第1セットSWAG 加藤のスピッシュートで試合開始。SWAG は立て続けに得点を重ね点差を広げる。HC fine も齋藤のポストプレーを中心に攻めるもなかなか得点が奪えず、たまたまタイムアウトを請求する。タイムアウト明けもSWAG の攻撃を止めることができず、第1セットはSWAG が取った。

第2セットSWAG が連続得点で8-0とし、HC fine を引き離す。HC fine も佐藤と平山の得点でSWAG を追いかけるが、立ち上がりの得点差は埋まらず、SWAG が勝利を収めた。

■総当たりリーグ戦 SWAG 2 (22-8、16-4) 0 Thetis 東京

第1セット、SWAG 赤石の得点からゲームスタート。その後も望月のスピッシュートでリードを広げる。対するThetis 東京も高良の得点で食い下がる。しかし、赤石、加藤らを中心に得点を積み重ねたSWAG が第1セットを取った。

第2セット、SWAG の赤石、谷川の連続得点からゲームスタート。その後も赤石の得点で着実にリードを広げていく。対するThetis 東京も村田がスピッシュートを決める。しかし、その後もSWAG がリードを広げていく。Thetis 東京も食い下がったが、リードを守り切ったSWAG が第2セットを取り、全勝優勝となった。



好評発売中

ハンドボールスキルアップシリーズ 目からウロコの ポジション別上達術

スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著

B5判 188ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

バックコート、サイド、ポストの3ポジションについて、それぞれの役割、求められる能力などをわかりやすく解説しているコートプレイヤー必読の一冊です。

既刊

目からウロコのDF戦術
1,800円+税



FIND YOUR WINNING COLOR

ジブンの勝ち色を見つけよう



NEW

アシックス イージーオーダーシステム

約**330億**通り

こだわりの
一足を作ろう!

HANDBALL SHOES
EASY ORDER SYSTEM



スポーツにおけるビッグデータ・AIの活用

清水 千弘 博士（環境学）
日本大学スポーツ科学部 教授
東京大学空間情報科学研究センター 特任教授



1. スポーツとデータ解析

競技スポーツの領域で、データ解析の自有用性が注目された一つのイベントは、マイケル・ルイスの「マネー・ボール」（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）であろう。米国のプロ野球チームのアスレチックスで三人の主力選手が抜けてしまう中で、戦力を補充する財源が足りなかったために、「セイバーメトリクス」と呼ばれる統計システムを活用した。そして選手のパフォーマンスの把握と予測によって快進撃を遂げるといった実話に基づく映画である。この映画は、競技スポーツ、とりわけ団体スポーツに多くの示唆を与えた。第一が、主力選手と評価していた選手が本当にチームにとって必要な選手だったのかである。第二が、その選手も含めて、その起用の組み合わせが正しかったのかどうかである。この責任を負うのは監督・コーチであるが、彼らの従来の先見的な判断や常識が間違っていた可能性が考えられる。このような中で、改めて競技スポーツ領域において、AI（Artificial Intelligence）の活用が注目されている。

1956年に開催された、AI研究の道筋を立てた最初の会議といわれる「ダートマス会議」において、スポーツ競技を含むエンタテインメントは、AIの適用領域として注目されていた。チェス、将棋、囲碁といった頭脳スポーツ領域での進化は著しく、ゲームの状態が完全にコンピュータ内で再現できるだけでなく人間の知を超えた領域まで発達することで、AIがトップ棋士に勝つことができる状況までに進化した。それは、過去の対局に関するビッグデータが蓄積されてきただけでなく、そのデータを学習することで、AIは成長してきたのである。AI用語でいえば、勝敗といった「教師データ」を「多様（Variety）」かつ「大量（Volume）」のあるデータを「迅速（Velocity）」（このような3つのVを伴ったものを「ビッグデータ」と呼ばれる）に学習することができるようになったことで、AIは飛躍的に進化していったのである。ここでのキーワードが、「ビッグデータ」と「学習」とになる。

人間が進化するためには、正しい「学習」が必要となる。スポーツでも例外ではなく、トップアスリートが誕生するためには、正しい学習（トレーニング）が欠かせない。この時に、指導者の果たす役割は極めて大きい。その指導者の代わりにAIは活用することができるのかということがポイントになる。頭脳スポーツでは過去のゲームの勝敗やそれに至るデータが、新しい教師・指導者となってきた。そして、そのデータを学習することで得られた結果を用いて、「人間対人間」で競争していたトレーニングから、「AI対人間」・「AI対AI」で互いに切磋琢磨し、AIの進化だけでなく、人間もまた進化してきた。このようなサイクルを競技スポーツの中で作り出すことはできるのであろうか。

頭脳スポーツでは、仮想空間の中で繰り広げられる勝負が、将棋盤や囲碁盤といった限定された実空間で展開されてきた。一方、実空間における身体運動を要求するスポーツ競技を再現しようとする、競技者やボールなどの実空間上の正確な三次元座標、移動速度・加速度・回転速度、プレイ環境（風向・風速、温度、湿度、気圧、日照、降雨、フィールド状態など）だけでなく、アスリートの身体状態（身体的能力、関節の形状、疲労度など）や精神状態、身体的能力および認知的能力、競技者同士やボールとの接触状態といった多岐にわたる状態から偶然性が発生するため、現在において入手可能なデータから作り出される仮想空間での戦いが、必ずしも実空間に正確に描写されるとは限らない。しかし、スポーツに関する多様な大規模データが迅速に入手できるだけでなく蓄積されていくことで、近い将来において、現在の偶然性を必然性へと転換した描写が可能となる時代が近く到来するものと考えられる。

2. 実空間センシングと集団運動と AI

サッカーやハンドボールなどのチーム競技においては、集団運動としての把握が必要となる。そのようななかで、実空間センシングの技術の進歩は、スポーツの仮想空間での再現に大きく寄与している。その先駆的な事例としては、カーネギーメロン大学の金出武雄氏らによって開発され、2001年のアメリカンフットボール大会 SuperBowl においてデモンストレーションが行われた Eye Vision システムがあげられる。多くのテレビカメラを同期して制御することで、スポーツ中継におけるエンタテインメント性を高めただけでなく、そこで蓄積されたデータから深層学習の技術を用いて試合の再現から戦略策定の支援にまで利用されるようになってきた。

一方、分析においては、集団性と速い速度で展開される変化をどのように統計量へと変換していくのかという問題に直面した。野球は集団運動ではあるが、一つ一つのプレイは原則として、1対1の個体運動（ミクロ）となる。一方、サッカーやハンドボール、バスケットボールは、各個体の連なりから生まれる集団運動（マクロ）が一層重要になる。その集団運動は、2～3名で構成される集団による運動は個人運動の特徴を引きずり、直線的な運動法則をもつ。一方、100名で行うような競技であれば、個人の特性は失われ、その空間の中で発生するボールやアスリートの動きは、ブラウン運動する粒子と同じくマクロの拡散運動を行うに過ぎない。しかし、11人で行うサッカー、7名で行うハンドボール、5人で行うバスケットボールは、その中で展開されるそれぞれの運動は直線的でもなく、ブラウン運動的でもなく、複雑な振舞いとなって表現される。さらに、ボールおよびそれをもつ選手だけでなく、「オフ・ザ・ボールでの動き」は集団運動において極めて重要となることから、ネットワークも含めて、一層複雑な事象として再現していくことが求められる。

しかし、このような現象もまた、ネットワーク解析技術の進歩などもあり、深く理解され、再現できるようになってきている。

3. 選手・コーチと AI との会話

頭脳スポーツの領域では、AIの進化が人間を一層強くしてきている。競技スポーツの領域においても、このようなテクノロジーの進化の恩恵を受けながら、さらなる進化の可能性は時間とともに高くなってきている。ここで重要となるのが、選手・コーチと AI との会話である。どんなに高度な技術を投入して実空間センシング技術などによってデータを生成・蓄積できたとしても、深層学習の進化の恩恵やその他の解析技術の進化によって新しい情報が生み出されたとしても、その結果を監督・コーチが正しく理解し、選手に伝達するだけでなく、行動変容が生まれなければ意味がない。

加えて、AIもまた万能でないということも理解する必要がある。AIが得意とする領域、人間が得意とする領域、AIしかできない領域、人間しかできない領域を正しく理解できて、初めて AI といったテクノロジーの進化の恩恵を人類は受けることができる。

AIの競技スポーツ領域での効果的な活用が進み、競技スポーツのレベル向上が進むことを期待したい。

[参考文献]

- ・ 清水千弘・清田陽司 (2019), 「スポーツ競技と AI」, 人工知能学会誌, No.35, 492-496.
- ・ 新井優太・家富洋・清水千弘 (2019), 「サッカーにおける集団プレイの検出とその指標化に向けて」, 人工知能学会誌, No.35, 511-516.

 OSAKI



mind

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。

限られた資源だから、有意義に使っていききたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていききたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



ブレسد名古屋 Jr. ハンドボールクラブ

ブレسد名古屋 Jr. ハンドボールクラブ代表 稲本 等



クラブ概要

【創設年】 2019年

【練習場所】 愛知県内体育館施設

【代表】 稲本 等

【連絡先】 blessedjr.hand@gmail.com

【所属選手】 男子 3年生：4名 2年生：9名 1年生：10名

女子 3年生：7名 2年生：1名 1年生：5名

(2020年10月1日現在)

1. 設立の経過

はじめに、私には3人の息子がおり、皆中学生からハンドボール競技を始めました。長男[稲本圭亮:現ゴールデンウルヴス福岡]は、夢であった海外でのプレーを実現させ、現在もハンドボール競技を続けています。こうしてハンドボールに関わらせて頂いているのもハンドボールにスポーツとしての魅力を感じ、また、熱心な指導者の方々にハンドボールを通して息子たちの健全育成を促して頂いたという感謝の気持ちを表現したいと考えているからです。

全国屈指のハンドボール王国である愛知県には、小学校・中学校・高校・大学・日本リーグと全国トップレベルで活躍するチームが多くあります。しかしながら、「ハンドボール競技に全力で打ち込める環境がない」という理由で競技を続けたくても続けられない選手がいることも事実です。「愛知県で育った選手に大学卒業後も活躍の場を提供したい」という思いから、2015年に社会人チーム・ブレسد名古屋(日本ハンドボール協会「一般A」登録)を立ち上げました。中高生の頃から見てきた選手たちが、全国各地で活躍した後、地元に戻ってきて純粋にハンドボールに打ち込んでいる姿を見ることが出来るのは大変感慨深いものがあります。

ブレسد名古屋所属選手には、教員として小・中学校の教育現場で働いている選手もいます。些細な会話の中から「顧問の異動や学校事情でハンドボール部が無い」「学校部活動の縮小傾向により満足できる活動ができない」という理由でハンドボール競技を続けられない、また、始められない中学生の存在を知りました。ブレسد名古屋として、このような境遇にある中学生たちに活躍の場を提供することができないかという思いが芽生えたのが、ブレسد名古屋 Jr. ハンドボールクラブ設立に向けての第一歩でした。しかしながら、中学生チームの設立の経験はもちろんのこと、中学生チームを運営していく知識もありませんでした。そこで、名古屋市内で活躍されているハンドボール関係者の方々や隣県で活躍されているハンドボールクラブ・ヴァルト岐阜のスタッフの方々にも助言を頂きながら、クラブ設立に向けて、チームスタッフで話し合いを重ねました。世間からは今後、更にスポーツクラブの需要が高まると予想されるため、設立に向けた準備が大切であると実感しています。実際にクラブを運営していくには、選手・指導者・練習会場・活動資金等、解決すべき課題が多くあります。これらの課題を小学生ハンドボールクラブや名古屋市内の中学校、会場を提供して下さる高校・大学、当クラブの活動に協賛して下さる企業様に支えられながら、設立2年目を迎えることができています。

2. ターゲットエイジの範囲とその選択理由

設立の経過でも触れましたが、「顧問の異動や学校事情でハンドボール部が無い」「学校部活動の縮小傾向により満足できる活動ができない」という理由でハンドボール競技を続けられない、また、始められない中学生に活躍の場を提供したいという思いから中学生のクラブチーム設立を考えました。愛知県は全国と比較してもハンドボール競技が盛んな地域であり、ハンドボールの競技人口も多いです。過去の実績からも、普及・育成・強化において日本ハンドボール界に少なからず貢献しているのではないかと思います。しかしながら、全国各地に中学生ハンドボールクラブチームが増加傾向にあるなか、ハンドボール

令和元年度活動実績

- 市民スポーツ祭ハンドボール大会
- 名古屋市中学生ハンドボール新人大会
- 名古屋市U-13ハンドボール大会(グループD)
- 愛知県中学生ハンドボール新人大会
- 第17回東海ブロックU-15クラブハンドボール大会

王国愛知には全国中学生ハンドボールクラブチームカップに出場するチームがありませんでした。これまで、名古屋市立東陵中学校、はとり中学校、平針中学校、滝ノ水中学校、扇台中学校等多くの中学校部活動が普及・育成・強化を担ってきましたが、今後はクラブチームも加わり、互いのストロングポイントを活かしながら愛知県のハンドボールを盛り上げて行けたらと考えています。

3. クラブ卒業生の受け皿、将来展望は

現在、当クラブには男子23名・女子13名の選手が在籍しています。ハンドボール経験の有無や居住している地域も様々です。昨年度は、設立初年度ということもあり、最上級生は井上あすか（現：名古屋経済大学市邨高等学校）1名でのスタートでした。そのような状況下でも、クラブスローガンにもある小さな努力を積み重ねたことで、目標であったJOC愛知県選抜選手に選出され、その後、ナショナル・トレーニング・アカデミー（NTA）特化プログラムにも参加しました。年度途中には、男女合わせて10名近くがチームに加わりました。新たに加わった選手も含め、クラブ卒業生全員が全国各地の高校でハンドボール競技を続けています。

この春は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、クラブ存続の不安もありましたが、男子10名・女子5名の選手が新たにチームに加わりました。昨年度の活動を振り返り、改善すべき課題は多くありますが、実際に設立したことで見えてきた総合型地域スポーツクラブの可能性も大いにあります。野球やサッカー、現在ではバスケットボールにおいても、部活動を上回るくらいクラブチームが活躍しています。ハンドボールにおいてもそのような状況になる可能性があると思います。

今後、当クラブを更に成長・発展させていくため、2021年4月からNPO法人ブレسد愛知スポーツクラブの事業としてブレسد名古屋 Jr. ハンドボールクラブを運営していく予定です。クラブ運営の課題である「指導者」「活動場所」「活動資金」を確保するためには、社会的にも認められた公的な組織にする必要があると考え、NPO（特定非営利活動）法人化を決めました。

将来の展望として、小学生ハンドボールチームを新たに設立し、ハンドボールの育成年代における指導システムの構築やメソッドの考案。更には、ジュニアからシニアまで誰もがハンドボールに関わることのできる地域に愛されるスポーツクラブに成長していけたらと理想を高く掲げています。

4. 今後、設立を考える方々に向けてのメッセージ

ブレسد名古屋 Jr. ハンドボールクラブは歩み始めたばかりです。全国各地には、何十年も前から地道にクラブ運営をされている方々が居ます。着実にハンドボールクラブ数は増加し、全国の舞台で活躍するクラブも出てきました。

愛知県に「顧問の異動や学校事情でハンドボール部が無い」「学校部活動の縮小傾向により満足できる活動ができない」という理由でハンドボール競技を続けられない、また、始められない子どもたちがいたように、全国各地にもいるはずですが、クラブがより多く設立されることでハンドボールの未来を担う子どもたちの可能性が広がると信じています。また、我々の活動が日本ハンドボール界の発展に寄与できれば幸いです。

最後に、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、これまでの日常から新たな日常へと変わりつつあります。ハンドボール界においても大会の中止が相次いでおりますが、このような状況の中、子どもたちの活躍の場を地域ハンドボールクラブが提供する。明るい未来に向かって、小さな努力を積み重ねて参ります。

今回このような機会を与えてくださった日本協会様に心より感謝申し上げます。



機関誌編集委員 小林弘樹

本記事は国際ハンドボール連盟の HP (<https://www.ihf.info/>) 上に掲載されたニュースをいくつかピックアップしてご紹介するものである。

8月28日：第45回日本ハンドボールリーグ開幕

日本リーグが8月29日に開幕することがIHFのHP上でもニュースとして取り上げられた。

記事の中では男女の参加チームそれぞれが海外経験者や日本代表選手を中心に個人名も混じえ簡単に紹介されている。なお大崎電気が土井レミイ杏利選手の父親の言葉を借りつつ「日本リーグのパリ＝サンジェルマン」と表現されているのが面白い。また、ポルトガルリーグから豊田合成に加入したヨアン・バラスケス選手についても触れられている。

COVID-19の影響としてリーグ戦が試合数を減らして行われることや、選手全員がPCR検査を受け陰性だったことに加え、北陸電力が社会インフラの担い手として事業継続に支障をきたすことを避けるべく試合を延期したことにも言及された。

ニュースの最後にはJHLのHPが英語にも対応していること、全試合がJHLtvにて視聴できることが紹介されている。

9月5日：第27回男子ハンドボール世界選手権（エジプト）組み合わせ抽選会

男子世界選手権の組み合わせ抽選会がGiza Pyramid Plateauにて開催された。ライトアップされたピラミッドやスフィンクスの下で行われたこの抽選会は、エジプトのテレビ司会者や俳優も参加した盛大なレセプションに、同国で数々の賞を受賞したミュージシャンによるパフォーマンス、3Dマッピングを使用した催しなども盛り込まれ大いに盛り上げられた（COVID-19への対策ももちろん行われていたようだ）。

ちなみにイベントから抽選会までの模様は、IHFのyoutubeチャンネルで視聴可能となっているほか、9月7日付のニュースにおいても大会マスコットの「ホルス」の紹介と合わせ詳報されている。

ニュースの中では抽選結果およびグループAからHまでの8グループにつき簡単に紹介されている。

なお日本ハンドボール協会HP等でも既報の通り、日本代表はクロアチア・カタール・アンゴラと同組のグループCとなった。

また、抽選会の出席者においてCOVID-19への感染が一件もなかったこと、またこの事実が世界選手権の開催に向けた前向きな一歩となることが9月24日付のニュースで報告されている。

9月11日：全日本ビーチハンドボール選手権

9月12日より愛知県碧南市で全日本ビーチハンドボール選手権が開催されることもニュースとして取り上げられた。出場チームの簡単な紹介および大会スケジュール、さらに湧永寛仁日本ハンドボール協会会長のコメントが掲載されているほか、各試合が日本協会のyoutubeチャンネルで視聴できることが伝えられている。

続く9月15日付のニュースでは男女の大会結果も伝えられた。

9月16日：レフェリー&ゴールキーパー コーチングセミナー（eラーニング）

IHFはオンデマンドeラーニングセミナーの作成にも注力しており、これらのセミナーにはyoutubeチャンネルのIHF-Education Centreにおいても公開されている。（言語は英語またはスペイン語）。

9月17日：日本のビーチハンドボールアンバサダーのヤハラリカ氏について

9月17日付ニュースにおいてビーチハンドボールアンバサダーのヤハラリカ氏が取り上げられた。ヤハラ氏の経歴紹介に始まり IHF による彼女へのインタビュー記事が掲載されている。インタビュー内容は、ハンドボールとの出会い、ビーチハンドボールアンバサダーとしての役割、2019年に熊本で開催された女子世界選手権についてなど多岐に渡り、最後はヤハラ氏と Hassan Moustafa 氏とのツーショット写真で締めくくられている。



9月24日：エジプト世界選手権での出場プレーヤー数のルール変更

IHF は、IHF COVID-19 医療タスクフォース（2020年7月に結成）の勧告に基づき、エジプトで開催される世界選手権においてプレーを許可される選手数を増やすことを決めた。これにより登録可能選手数は20人となる。より多くの代替プレーヤーを確保できるようにすることで、パンデミックによるトレーニングと試合量減少に起因するプレーヤーの負傷回避が目的とされている。

9月25日：ドイツのクラブチームがギネス世界記録を達成

9月12日に、ドイツのクラブが一風変わったタイトルを争った。ハンドボールチームにおける一時間での最多パス数というギネス世界記録である。過去に記録がないため、ギネス世界記録基準を満たしている限り優勝チームがギネス記録保持者となる。

優勝したのは TSV Sieverstedt で、5,392 回という記録だった。

このイベントは Schleswig-Holstein 州ハンドボール協会によって「今春から COVID-19 により困難な月を過ごしてきたハンドボールコミュニティを動員する」ことを目的として開催された。

ドイツハンドボール連盟 CEO の Mark Schober 氏は「私たちはゆっくりとハンドボールに戻ってきている。記録を追い求めることで、ハンドボールファミリーはあらゆるレベルで動き、宣伝となる」と述べている。

10月5日：IHF ビーチハンドボールウィーク開始

第1回 IHF ビーチハンドボールウィークが10月5日より始まる。この一週間にわたるイベントでは、世界中のトップビーチハンドボールコーチ、講師、役員、専門家によるプレゼンテーションが行われる。参加者は攻撃と防御の戦略やスピンショットについてさらに深く学ぶことができる。

講義は ZOOM と IHF の Facebook アカウントでライブストリーミングされる。

紙幅の関係により、本記事において取り上げられる内容は以上のものとどまったが、IHF の HP 上ではより多くの幅広いトピックスが取り扱われている。残念ながら日本語での記載は無いが、ハンドボール愛好の諸氏におかれては是非一度アクセスされたい。

多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。
私たちはこれからも、素材の力で新たな価値創造に貢献していきます。

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

外からは見えませんが、骨のある会社です。

大同特殊鋼

2020年度採用事務局職員紹介

◆氏名

丸山紀子

◆協会内の担当

広報

◆前職

株式会社ミニミニエージェンシー（社宅代行会社）

◆最終出身校

桐蔭横浜大学

◆ハンドボールとの付き合い歴

御所ヶ丘中→伊奈高校→桐蔭横浜大学→HC名古屋（16年間）

◆自己PR・抱負

皆さん、初めまして！

私はハンドボールへ恩返しをしたく、日本協会に入る決意をしました。

ハンドボールのおかげで、大切な仲間ができた。

ハンドボールのおかげで、普通では経験できないことができた。

ハンドボールのおかげで、人間性が養われた。

これまでたくさんハンドボールにお世話になり、今度は私が恩返しをする番だと思いました。

皆さんと一緒にハンドボール界の為に活動できること、嬉しく思います。

未熟者ですが、場数を踏んで戦力になれるようファイトします！

これからもよろしくお願ひ致します。



◆氏名

佐藤なつ美

◆協会内の担当

J-STAR プロジェクト担当、指導育成（副）

◆前職

保育士（パティスポーツ幼児園）

◆最終出身校

北海道保育総合専門学校

◆ハンドボールとの付き合い歴

札幌市立東月寒中学校【全中2年連続出場（長野・沖縄）・JOCカップ2年連続出場】→札幌月寒高等学校【春の選抜2年連続出場（氷見）・2003長崎ゆめ総体出場・2003わかふじ国体出場】→豊平クラブ（3年間）

◆自己PR・抱負

私とハンドボールとの出会いは、「偶然」で、何気なくハンドボール部に入部してから、すぐにハンドボールの魅力に取り憑かれ、高校時代は主将として国体にも出場することができました。

ただ、全国大会の壁は分厚く、「全国にはこんなにもすごい選手たちがいるのか…」と、圧倒されたのを今でも覚えています。

私の担当する「J-STAR プロジェクト」は、他競技に埋もれているハンドボール界のスター選手の発掘・育成する事業となり、初めてハンドボールに触れる選手達が、ハンドボールの楽しさ・素晴らしさを感じられるようにサポートしていきたいと思っています。

私のように、「ハンドボールに触れるきっかけ」さえあれば、どんな方にも好きになってもらえるスポーツだと思っていますので、今いるファンの方々含め、更にはたくさんの方々には様々な形で楽しんでもらえるハンドボール界を作り・支えていけるよう頑張りたいと思っています。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。



2020年度採用事務局職員紹介

◆氏名

菅原京平

◆担当

戦略企画委員会
マーケティング

◆前職

RIZAP 株式会社

◆最終学歴

茨城大学

◆ハンドボール歴

野球上りで高校からハンドボールを始め、その競技性に魅かれました。関東4部と決して上のリーグではありませんが大学でも部活として4年間続けました。現在も社会人チームで東京を中心にプレーしています。お会いした際は是非よろしくお祈いします！

◆自己PR

私の人生（といっても24年ですが）はずっとスポーツと共にありました。とりわけハンドボールは関わったスポーツの中でも一番楽しく私の人生に大きな影響を与えてくれました。そんなハンドボール延いてはスポーツに恩返しをしたい、ハンドボールに関わる人を幸せにしたい想い一つでこのJHAに就職いたしました！

「ハンドボールってなんでマイナーなんだろうこんなに面白いのに…」 「観に来たら絶対楽しめるのに…」 と燃ってた想い（ハンドボールが好きな皆さんなら同じことを思ってきたと思います）をマーケティングや企画を通してどんどん大きな炎に燃え上がらせていきたいと思います！

一番はハンドボールやスポーツの輪がどんどん広がっていき、そしてそれが皆さんにとっての生きる活力になればと思っています。

決してハンドボールエリートではない私が日本のハンドボールを変えていきます！



◆氏名

藤谷怜奈

◆協会内の担当

リーグ機構 広報

◆前職

報道・スポーツ番組制作

◆最終出身校

同志社大学

◆自己PR・抱負

私はハンドボールの経験は中学、高校時代の体育くらいしかありません。

ですがスポーツへの思いはとても強く、大学時代には体育会のスポーツ新聞を作り、社会人になってもいろいろなスポーツの現場に行き、取材活動をしてきました。

ハンドボールに詳しくはないですが、これまで様々な競技を見てきた経験を活かし、ハンドボール界に取り入れられるものは積極的に取り入れながらハンドボールの発展に貢献できたらと思っています。

未熟者ですが、よろしくお祈いします。



2020年度 臨時理事会

日時：2020年9月12日（土）
13:30～16:30
場所：Zoom ミーティング

【審議事項】

1. 臨時評議員会開催（書面）について（定款変更）＝承認
2. 組織図について＝承認
3. 2020-24 強化戦略プラン改訂について＝承認
4. 2020 年度第3 四半期 JOC 強化指定選手推薦について＝承認
5. 女子ジュニア世界選手権チーム派遣について＝承認
6. 2020 年度日本選手権について＝承認
7. 2021 年度日本選手権開催地について＝承認
8. 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(第2 版)について＝承認

【報告事項】

1. JHA の「ビジョン・ミッション・バリュー」策定について
2. 総務本部報告事項
3. 強化活動実施に関するガイドラインについて
4. 国際大会スケジュールについて
5. マスターズシニア大会について
6. 上級審判員審査会について
7. JSC 助成活動の申請取下げについて
8. 第22 回全日本ビーチ選手権について
9. 広報マーケティング本部活動報告
10. 日本リーグからの報告

2020年度 全国理事長会議

日時：2020年10月3日（土）
13:30～15:30
場所：Zoom ミーティング

【日本協会報告】

1. JHA Vision・Mission・Value 策定について
2. 2020 年度登録状況について
3. 財務状況について
4. 強化関連報告
5. 指導普及本部活動報告
6. 広報マーケティング本部活動報告
7. 競技会等再開のための情報について（競技再開ガイドライン）
8. 日本ハンドボールリーグからの報告

2020年度 10月常務理事会

日時：2020年10月17日（土）
13:30～16:30
場所：Zoom ミーティング

1. 総務本部報告

- (1) 9 月月次決算報告
- (2) 第二次補正予算について
- (3) 2021 年度事業計画・予算策定について
- (4) 毎日スポーツ人大賞について
- (5) 第70 回日本スポーツ賞／第5 回日本パラスポーツ賞2020 年度の開催見送りについて
- (6) 国内大会役員派遣について

2. 強化本部報告

- (1) 2020 年度アンダーカテゴリー代表スタッフについて
- (2) 2021 年度スポーツ指導者海外研修員推薦候補について
- (3) 専任コーチの契約について
- (4) 女子代表チーム強化について

3. 競技本部報告

- (1) 2020 年に中止になった大会の次回からの回数表記について
- (2) 全国高校選抜大会におけるPCR 検査の対応について

4. 広報・マーケティング本部報告

5. 日本ハンドボールリーグ新法人 役員組成と役員候補者選考
6. Vision・Mission・Value 策定について